



タデ科

1. ママコノシリヌグイ (継子の尻拭)

- 特徴：葉や茎に下向きのトゲ
 - 花の大きさ：約5mm
- 5～10月にピンク色の花が咲きます。他の植物などに巻きつくつる植物です。葉は三角形で、根元に茎を囲む小さな葉があります。明るい林で見られます。



マメ科

2. ナンテンハギ (南天萩)

- 特徴：葉は2枚1組
 - 花の大きさ：約1.5cm
- 6～10月にむらさき色の花が、10個ほど集まって咲きます。花が萩に、葉がナンテンに似ていることから名付けられました。明るい草地で見られます。



シソ科

3. アキノタムラソウ (秋田村草)

- 特徴：茎が四角い
 - 花の大きさ：約1cm
- 7～10月にうすむらさき色の花を咲かせます。花は数個ずつ段になってつき、下から順番に咲きます。林の縁など明るい場所で見られます。



タデ科

4. ミズヒキ (水引)

- 特徴：細長い軸に花がつく
 - 花の大きさ：約4mm
- 7～10月に赤と白の花が咲きます。花びらのようなものはガクです。花びらはありません。花の様子をお祝いの時に使う「水引」に例えて名付けられました。



フウロソウ科

5. ゲンノショウコ (現の証拠)

- 特徴：雄しべの先が青紫色
 - 花の大きさ：1～1.5cm
- 7～10月に白や赤の花が咲きます。西日本では赤が、東日本では白が多く見られます。実は5つに破れつして種を飛ばし、その姿はお神輿にも例えられます。



ハマウツボ科

6. ナンバンギセル (南蛮煙管)

- 特徴：花はキセルのような形
 - 花の大きさ：約3cm
- 8～9月に赤むらさき色の花が咲きます。ススキやチガヤなどに寄生する寄生植物で、葉はありません。うつむいて咲く様子から「思い草」とも呼ばれます。

* 花が咲く順番にならんでいます



ユリ科

7. ツルボ (蔓穂)

- 特徴：花は穂状に集まる
 - 花の大きさ：7～8mm
- 8～9月にうすむらさき色の花が咲きます。日当たりのよい場所に生え、花は下から順番に咲いていきます。地中に2～3cmの球根があり、食べられます。



シナノキ科

8. カラスノゴマ (鴉胡麻)

- 特徴：ガクが反り返る
 - 花の大きさ：2～3cm
- 8～9月に黄色い花が咲きます。花は2～3cmの軸の先に1つ、下向きに付きます。実は細長い袋状で、3mmほどの黒い小さな種がたくさん入っています。



水引

名前に注目！！



釣鐘

【ミズヒキ】お祝いの品や封筒に付ける「水引」に姿が似ている

【ツリガネニンジン】花が釣鐘に、根が朝鮮人參に似ている

【ヒガンバナ】秋のお彼岸の頃（9月23日前後）に花が咲く

* 曼珠沙華などたくさんの別名もあります！

【ナンバンギセル】花の形が南蛮（西洋のこと）のキセルに似ている

【ゲンノショウコ】薬にすると、すぐに効いている証拠（効薬）が現れる



キセル



キク科

9.アキノキリンソウ (秋麒麟草)

- 特徴：花は棒状に集まる
- 花の大きさ：1~1.5cm

8~10月に黄色の花を咲かせます。葉の裏は網の目のように葉脈があります。花の様子をお酒を造る時に出る泡に例えて「泡立草」とも呼ばれます。里山などの明るい林で見られます。



キキョウ科

10.ツリガネニンジン (釣鐘人參)

- 特徴：花は釣鐘型
- 花の大きさ：約2cm

8~10月に、うすむらさき色の花が下向きに咲きます。花の外側にあるガクは糸のように細く、長い雌しべの先が花の外に出ています。日当たりのよい草地で見られます。



キツネノマゴ科

11.キツネノマゴ (狐の孫)

- 特徴：穂の中から花が出る
- 花の大きさ：約8mm

8~10月に赤むらさき色の花が咲きます。花びらは2つに分かれ、上は小さく、下は大きく張り出しています。花は1~3個ずつ咲くため、長い間見ることができます。



キク科

12.ノハラアザミ (野原薊)

- 特徴：つぼみを包む葉はトゲ状
- 花の大きさ：約4cm

8~10月に赤むらさき色の細い花が集まって咲きます。長く伸びているのは雄しべで、白い花粉が出ます。葉のふちには鋭いトゲがあり、触ると痛いので、明るい草地で見られます。



ユリ科

13.ホトトギス (杜鵑草)

- 特徴：花びらに赤紫色の斑点
- 花の大きさ：2~3cm

8~10月にカップ型の花が上向きに咲きます。葉の根元から伸びた茎の先に1~3個の花が付き、日本原産の花で太平洋側に多く、明るい林の中で見られます。



キク科

14.ヤクシソウ (薬師草)

- 特徴：つぼみは上向きに付く
- 花の大きさ：約1.5cm

8~11月に黄色い花が咲きます。つぼみと花は上向きですが、咲き終わった花は下向きです。茎や葉をちぎると白い乳液が出ます。道のそばなど明るく少し乾いた場所で見られます。

* 花が咲く順番にならんでいます



キク科

15.アキノノゲシ (秋野芥子)

- 特徴：花びらはクリーム色
- 花の大きさ：約2cm

8~11月にうすい黄色の花が咲きます。茎は太く、高さ2mくらいになります。根元の葉は10~30cmで深い切れ込みがあり、茎や葉をちぎると白い乳液が出ます。明るい草地で見られます。



ヒガンバナ科

16.ヒガンバナ (彼岸花)

- 特徴：雄しべ、雌しべが長い
- 花の大きさ：約5cm

9月に赤い花が咲きます。花びらはリボン状で反り返っています。球根で増えるので実はできません。葉は夏になる前に枯れてしまうので、葉と花を同時に見ることはありません。



リンドウ科

17.リンドウ (竜胆)

- 特徴：花は筒型で上向き
- 花の大きさ：5~6cm

9~11月に青むらさき色の花が、茎の先や葉の根元に集まって咲きます。花は日が当たった時だけ開き、雨や曇りの日は閉じたままです。明るい林の下や草地で見られます。



キク科

18.セイタカアワダチソウ (背高泡立草)

- 特徴：花は三角形に集まる
- 花の大きさ：約5mm

10~11月に黄色い花が咲きます。北アメリカから、花を楽しむために持ち込まれました。高さは2~3mにもなり、日本中の河原や土手などで見られます。 *北米原産要注意外来生物